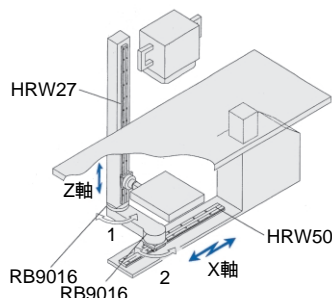


用途例・使用例

LMガイド/クロスローラーリング

レントゲン装置のキャプチャーパネル部の移動

患者の位置に関係なく、あらゆる方向から患者のX線イメージをモニターに取り込み、診察できるレントゲン装置です。X、Z軸にHRWを、1、2軸にRB形の採用により移動時、音が静かで振動が無いため、患者に不安を与えません。

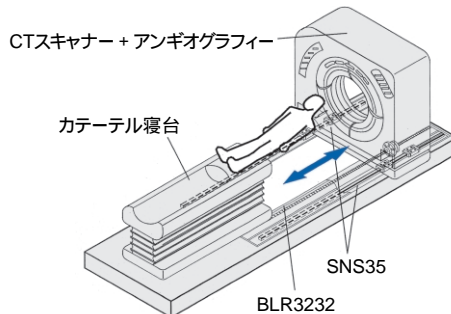


掲載ページ ②-38 ~ 39、②-112 ~ ②-115

ロータリボールねじ/ボールリテーナ入りLMガイド

全身用医療用X線CT装置の本体移動部

本体移動部にSNS形とBLR形が採用されています。CT装置移動部にSNS形を採用したことにより、移動時に振動が無く、低騒音で移動できるため、患者への精神的な負担の軽減が可能となりました。

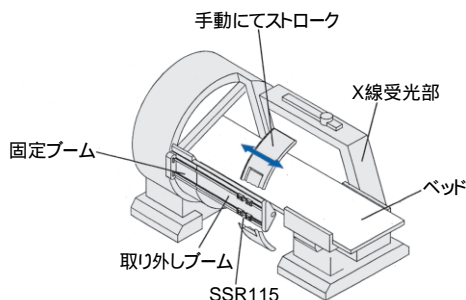


掲載ページ ②-4 ~ ②-5、②-97

ボールリテーナ入りLMガイド

医療用レントゲンカメラのX線照射装置の案内部

SSRを採用することにより、騒音を低減し患者により良い検査環境を提供することが可能になりました。ブーム着脱に伴うレール継ぎ部の誤差に対してもLMガイドの高い誤差吸収能力によりスムーズな乗移りが可能になりました。

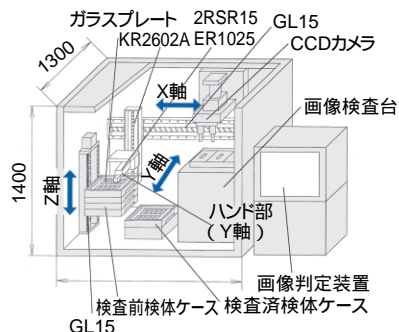


掲載ページ ②-1 ~ ②-3

LMアクチュエータGL形/KR形/精密リニアバック

細胞検査装置(ガラスプレートを搬送するX、Y、Z軸)

壊れやすいガラスプレートをハンドリングするためスムーズな動作と高い繰り返し位置決め精度が必要となり、GLとKRの組合せにより、ローコスト化が可能になりました。

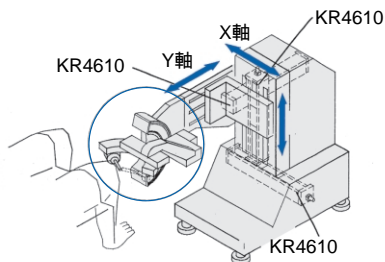


掲載ページ ②-50 ~ 53、③-184 ~ ③-189

LMガイドアクチュエータ/Rガイド

人工関節置換手術支援用ロボット

ヘッド部分の軸、軸にTHK Rガイドを採用し、関節の中心点をR中心に置くことによりツールの切り込み方向を正確に保つことが可能となり、手術の精度が向上しました。また、U・V・Y・Z軸においてもLMガイド及びKRを採用し、人間の手による手術よりも高精度な人工関節の設置面を生成することが可能となりました。

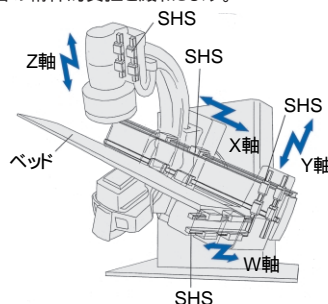


掲載ページ ②-50 ~ 53、②-34

ボールリテーナ入りLMガイド

多目的X線装置のベッド及びX線受光部

X線カメラのX・Z軸、ベッド部のW・Y軸に4方向等荷重形のSHS形を使用することにより、あらゆる方向の荷重・モーメントを負荷できることから、様々な角度からのスキヤニングが可能となりました。また、SHS形はボールリテーナ入りなので、各軸の移動時において高い静粛性を持ち、検査中の患者の精神的負担を緩和します。



掲載ページ ②-6 ~ ②-9